

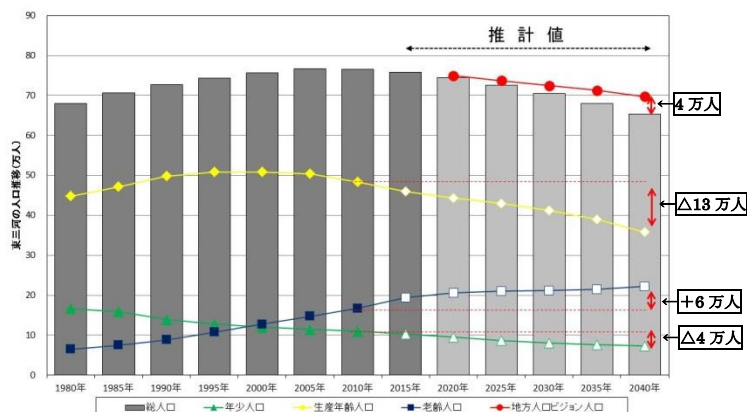
東三河地域の「人口」

東三河地域の人口の状況

東三河地域の人口（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村の5市2町1村）は1980年から2005年まで増加し、ピーク時は約77万人（2005年）でしたが、2015年は約76万人で既に約1万人減少しています。今後、2040年には約65万人（2015年から約11万人減少）になると推測されています。

年齢階層別人口をみると、2000年に高齢人口が年少人口を超え、2020年には年少人口の2倍となり、2040年には3倍となります。生産年齢人口について、ピーク時は約51万人（1995年）でしたが、2010年は約48万人で既に約3万人減少しています。今後、2040年には約36万人（2010年から約13万人減少）になると推測されています。この数値は、2015年時点の田原市と新城市の人口とほぼ同数となっており、労働力不足に陥ることが懸念されます。

各市町村から発表されたまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」に基づく「地方人口ビジョン」の東三河地域の合計目標値とRESASにおける推計値を比較すると、2040年では+約4万人となっており、非常に高い目標が設定されています。これから各市町村が実現に向けてさまざまな取り組みを行っていくと思われますが、かなり厳しい数値になっていると言わざるを得ません。



	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総人口	679,154	705,933	726,637	743,511	756,104	766,769	765,687	757,781	744,452	726,195	704,611	680,434	653,898
年少人口	166,366	159,175	139,135	127,171	119,871	114,453	110,050	102,878	94,901	86,993	80,083	75,983	72,995
生産年齢人口	448,269	471,355	498,502	508,603	508,207	503,940	483,606	460,020	443,326	429,424	412,324	389,762	358,340
高齢人口	64,438	75,395	88,554	107,582	127,269	147,085	167,301	194,831	206,225	209,778	212,204	214,689	222,563
地方人口ビジョン人口									749,214	737,138	724,764	712,757	697,072
推計値との差									+4,762	+10,943	+20,153	+32,323	+43,174

出典：RESAS（2010年までは実数値、2015年以降は推計値）、2015年国勢調査（速報値）、まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」に基づく各市町村発表の「地方人口ビジョン」を利用して作成

※2015年は、総人口のみ国勢調査（速報値）を使用し実数値、年齢階層別人口はRESASを使用し推計値

転入転出の状況

転入転出者数は大都市圏（※1）や近隣県（※2）以外の道県、国外などからの転入超過が見られ、東三河地域以外の愛知県内、大都市圏への転出超過が続いているため、全体的には転出超過となっており、人口減少の要因の一つです。

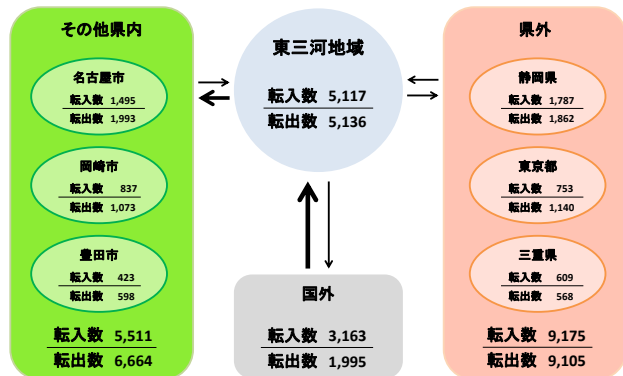
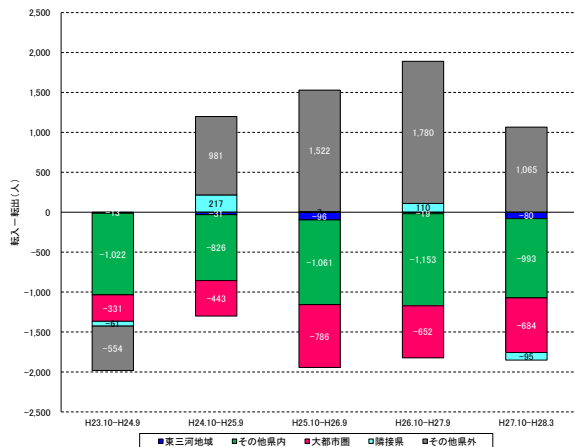
転入転出者数を地区別でみると、東三河地域以外の愛知県内への転出が多く、国外からの転入が多い状況となっています。東三河地域の転入については、20歳～29歳の年齢層が多くなっており、就職等に伴うものと考えられ、転出については、15歳～24歳の年齢層が多いこと

公益社団法人東三河地域研究センター

から、進学等に伴う転出が多いと考えられます。以上の結果から、教育の場をもとめ、東三河地域の若者が主に名古屋市へ転出してしまっていると考えられるため、教育の場の充実等、若者の転出をどのように減少させるかが今後の課題と言えます。

※1 大都市圏：東京、千葉、埼玉、神奈川、大阪、兵庫、京都の7都府県

※2 近隣県：静岡、岐阜、三重の3県



H26.10-H27.9月における地域ごとの転入転出者数

※右図の東三河地域内の転入転出者数が違う理由は、転出届、転入届の提出が集計とずれているためである。

出典：愛知県 HP「年報 あいちの人口」から市区町村別転入転出クロス集計表を利用して作成

※H27.10-H28.3は6ヵ月間での数値

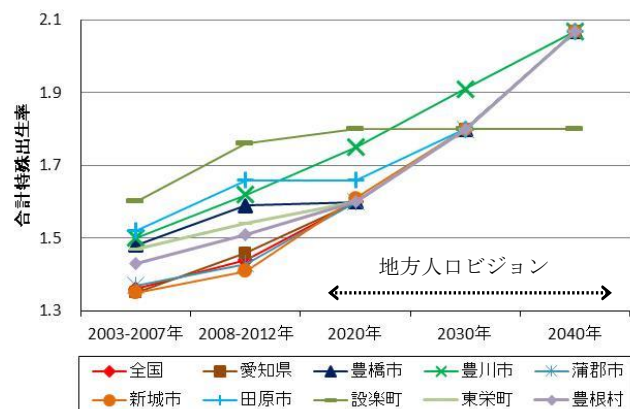
合計特殊出生率(※)の状況

2008-2012 年での東三河地域の合計特殊出生率は設楽町 (1.76)、田原市 (1.66) が高く、蒲郡市 (1.43)、新城市 (1.41) が低くなっています。

各市町村から発表されたまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」に基づく「地方人口ビジョン」では、今後 2030 年までに 1.80 以上、2040 年までに 2.07 を達成させる目標を設定しています(設楽町は除く)。

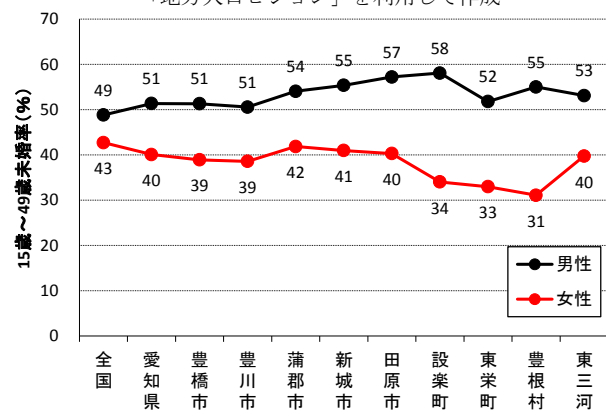
未婚率は男性 53%、女性 40%となっており、現在の晩婚化、少子化の状況に加え、人口減少、高齢化がさらに進行していくと推測されている中で、2030 年までに 1.80 という目標はかなり厳しい数値になっていると言わざるをえません。

※合計特殊出生率：15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの(厚生労働省 HP より)



注) 全国、愛知県の出生率(2003-2012 年)については各年の出生率から平均を算出した。

出典：RESAS(2003-2012 年)、2020 年以降はまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」に基づく各市町村発表の「地方人口ビジョン」を利用して作成



出典：2010 年国勢調査を利用して作成